

農山漁村地域整備計画

計画の名称 長野県木を活かした力強い産業づくり整備計画								
計画策定主体 長野県								
対象市町村 長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町、長和町、青木村、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村、上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村、池田町、松川村、白馬村、小谷村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、信濃町、飯綱町、小川村、栄村								
計画の期間 平成27年度～平成31年度（5年間）								
計画の目標 長野県の森林は、昭和20年代半ばから40年代にかけて集中的な人工造林によって、林齢構成に偏りが見られ、間伐の対象となる3齢級から12齢級までの森林面積は、人工林全体の約8割、26万haを占めている。 このため、間伐等の適切な森林整備と成熟しつつある森林資源の有効活用が課題となっている。 長野県では平成32年度までに約18万ヘクタールの森林の間伐を実施することを目標としている。 本計画において平成31年度の目標値の達成に向け森林整備事業を実施する。								
定量的指標 ・間伐等の森林整備が行われた森林を、計画期間中（H27年度からH31年度）で80,000ha増加させる。 ・路網整備により森林整備を推進し、素材生産量を457千m ³ /年（基準年：H26年度）を700千m ³ /年（目標：H31年度）に増加させる。								
① 対象事業								
事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の総事業費 (千円)	備考
森林整備事業	フォレストコミュニティ総合整備事業	長野県内 (林道長谷高遠線)	長野県	伊那市	フォレストコミュニティ総合整備事業(林道開設)	H27～H31	480,000	
	フォレストコミュニティ総合整備事業	長野県内 (林道高森山線)	長野県	大鹿村	フォレストコミュニティ総合整備事業(林道開設)	H27～H31	148,500	
	育成林整備事業	長野県内 (林道高平線)	長野県	飯田市	育成林整備事業(林道開設)	H29～H31	60,000	
	育成林整備事業	長野県内 (林道天白高鳥谷線)	駒ヶ根市	駒ヶ根市	育成林整備事業(林道開設)	H27～H31	99,500	
	林道改良事業	長野県内 (林道千代田湖枯木線)	伊那市	伊那市	林道改良事業(改良)	H27～H30	48,400	
	林道改良事業	長野県内 (林道古城線)	駒ヶ根市	駒ヶ根市	林道改良事業(改良)	H27～H30	58,800	
	林道改良事業	長野県内 (林道南アルプス線)	伊那市	伊那市	林道改良事業(改良)	H27～H30	97,200	
	林道改良事業	長野県内 (林道陣馬形線)	中川村	中川村	林道改良事業(改良)	H27～H30	43,300	
	林道改良事業	長野県内 (林道銭峯線)	中川村	中川村	林道改良事業(改良)	H29～31	20,200	
	林道改良事業	長野県内 (林道間沢川線)	松川町	松川町	林道改良事業(改良)	H27	13,500	
	林道改良事業	長野県内 (林道桧沢和合路線)	飯田市	飯田市	林道改良事業(改良)	H27～H29	35,400	
	林道改良事業	長野県内 (林道万古川線)	泰阜村	泰阜村	林道改良事業(改良)	H27～H30	44,000	
	林道改良事業	長野県内 (林道中峰黒川線)	大鹿村	大鹿村	林道改良事業(改良)	H27～H29	90,892	
	林道改良事業	長野県内 (林道押の沢線)	飯田市	飯田市	林道改良事業(改良)	H27	18,500	
	林道改良事業	長野県内 (林道鳥倉線)	大鹿村	大鹿村	林道改良事業(改良)	H27～H31	112,520	
	林道改良事業	長野県内 (林道釜沢線)	大鹿村	大鹿村	林道改良事業(改良)	H27	10,100	

